

平成28年5月吉日

関係各位

日本産業技術教育学会

会長 菊地 章 (鳴門教育大学 教授)

第19回技術教育創造の世界「エネルギー利用」

技術作品コンテスト実行委員会

委員長 川崎 直哉 (上越教育大学 教授)

日本産業技術教育学会主催

第19回技術教育創造の世界「エネルギー利用」技術作品コンテスト
に対するご支援のお願い

日本産業技術教育学会におきましては、我国における技術教育の振興を図ることを目的として、本年度も下記の事業を実施いたします。本事業につきましては、かねてより多大なご支援を賜っておりますこと、深く感謝申し上げます。この事業をいっそう活性化させ、意義あるものにするために、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 事業名称 第19回技術教育創造の世界「エネルギー利用」技術作品コンテスト
2. 主 催 日本産業技術教育学会
3. 目 的 技術教育の成果を社会に広く知らせるとともに、エネルギーの有効活用とものづくりの技術を尊重する社会的機運を醸成し、小学校、中学校、高等学校における技術教育の振興を図る。
4. 対 象 小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校に在学中に、生徒が個人または団体で製作し、学校（教員）の確認と推薦を受けた作品（上記在学中の作品であり、担当教員の証明があれば、卒業後でも応募可）。
5. 競技部門 小学生技術教育の部（個人・団体）、中学生技術教育の部（個人・団体）、高校生技術教育の部（個人・団体）、小学生工夫・創造技術の部（個人・団体）、中学生工夫・創造技術の部（個人・団体）、高校生工夫・創造技術の部（個人・団体）を設定する。
6. 審査基準 (1)：作品自体の独創性やその製作過程で工夫し、創造した様子が分かる。
(2)：製作の動機や使用目的が明確である。
(3)：身の回りのエネルギーを利用する作品になっている。
(4)：作品のアイデアや構造、含まれている技術的な観点が、図や写真などを活用して論理的にわかりやすく説明されており、仕上がりが粗雑でない。
(5)：作品を展示するとき、作品を操作するときに安全である。
7. 応募期間 平成28年8月20日(土)～9月20日(火)
8. 審査日 1次審査 平成28年10月8日(土) (会場：上越教育大学)
2次審査 平成28年10月29日(土) (会場：上越科学館)

9. 表彰式 平成28年12月10日(土)13:00~15:00
会場：上越科学館（新潟県上越市下門前 446-2）
10. 展示 平成28年12月10日(土)・11日(日)
会場：上越科学館（新潟県上越市下門前 446-2）
11. 共催 全日本中学校技術・家庭科研究会 国立大学法人上越教育大学 国立大学法人新潟大学 国立大学法人信州大学 国立大学法人福井大学 上越科学館
12. 後援 文部科学省(予定) 経済産業省(予定) 特許庁(予定) 中小企業庁(予定) 新潟県教育委員会 上越市教育委員会 妙高市教育委員会 糸魚川市教育委員会 公益社団法人全国工業高等学校長協会(予定) 公益社団法人全国中学校産業教育教材振興協会 日本産業教育振興協同組合 一般社団法人日本機械学会 一般社団法人電気学会 一般社団法人軽金属学会 一般社団法人日本アルミニウム協会 国立研究開発法人科学技術振興機構(予定) 一般財団法人大阪科学技術センター(予定) 他
13. 大会事務局 第19回技術教育創造の世界「エネルギー利用」技術作品コンテスト実行委員会
(通称：エネコン19実行委員会)
〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1 上越教育大学 生活・健康系教育実践コース(技術)
TEL/FAX：025-521-3405(東原研究室)
E-mail：enecon19@myjuen.jp
エネコン19ホームページ <http://enecon19.tech.juen.ac.jp/>
実行委員長：川崎 直哉(上越教育大学教授)
実行副委員長：塚本 充(福井大学教授)
事務局長：東原 貴志(上越教育大学准教授)
審査委員長：西 正明(信州大学教授)
14. 学会本部 日本産業技術教育学会
学会長：菊地 章
〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島 748
鳴門教育大学 大学院 学校教育研究科 技術・工業・情報コース
[E-mail(庶務)] web@jste.jp
[Tel] 088-687-6551(庶務理事：宮下晃一 鳴門教育大学 教授)
[HP URL] <http://www.jste.jp/>

以上